

令和 4 年度

飯田市キャリア教育推進フォーラム

～幼児期から高等教育期までつながる学びを通して生きる力を育むために～

[日程]

◆開会式	13:00～13:15
* 「わが家の結いタイム三行詩コンクール」 特選表彰	
第 I 部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育実践発表	13:15～14:55
① 殿岡保育園	
② 丸山小学校	
③ 竜峡中学校	* ①～③の感想発表
④ 飯田OIDE長姫高等学校	
⑤ 飯田女子短期大学	
⑥ 結いジュニアリーダー育成講座	* ④～⑥の感想発表
— 休憩 —	14:55～15:05
第 II 部 パネルディスカッション	15:05～15:55
テーマ	これからの「飯田型キャリア教育」を考える
◆閉会式	15:55～16:00

期日：令和 5 年 2 月 11 日（土）

会場：飯田市鼎文化センター

主催：飯田市・飯田市教育委員会

後援：長野県教育委員会・長野県南信州地域振興局・下伊那教育会・下伊那校長会・
飯田市校長会・飯田商工会議所・長野県経営者協会飯田支部・飯田青年会議所・
みなみ信州農業協同組合・飯田市社会福祉協議会・飯田市 PTA 連合会・
飯田市保育協会

第I部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育実践発表

① 殿岡保育園の皆さん

“あ！うごいたよ”～ツマグロヒョウモン、こんにちは～

飯田市公立保育園では信州型自然保育の認定を受け、更に飯田市の自然を活かした“いいだ型自然保育”にも取り組み、各園がそれぞれの地域の特色を大事にした保育を行っています。殿岡保育園でも、友だちと一緒に園庭や地域の自然に関わり、地域の方と触れ合うことで、たくさんの心を震わせ身体を動かし、心身共に成長しています。その中の一コマ“ツマグロヒョウモンとの出会い”から広がる子どもたちの気づき、知りたいという意欲、育ちを可愛い写真を交えてお伝えしたいと思います。



なんだ？



ツマグロヒョウモン

② 丸山小学校の3学年 6学年の皆さん

「地域と獅子舞」(3学年) 「身近な人との仕事調べ」(6学年)

本校では「小中一貫のキャリア教育のめざす子ども像」にある「ふるさとを愛し、ふるさとともに生きている自分を見つめ、ふるさととの未来と私の夢を想像していける子ども」の姿に向けて取り組んでいます。3学年では地域の「羽場獅子舞」「東野大獅子」について、「見て、聞いて、触れて」地域の方々に関わり本物に触れ、運動会や地域の文化祭で披露した獅子舞を通して、自己を振り返り、更に成長していく姿がみられました。また、隣にある丸山保育園と獅子舞交流を行い、自己の成長に気づいたり、思いやりの心をもつことができました。



<3年 地域の方からアドバイス>

6学年では、「身近な人の仕事調べを通して自分をみつめよう」について、夏休み中に自分の親から聞き取る調べ学習を行いました。さらに、実際に職場体験を通して、学校生活や将来に向けて、これからの自分に生かして生きたいことを個々に感じる事ができました。学校だけでなく、保護者・地域の方で子どもたちが育って行く様子が見られました



<6年 かざし学習発表会>

③ 竜峡中学校の生徒・職員代表の皆さん

キャリア教育実践報告



本校では、キャリア教育で育みたい力として「人とつながる力」「自分を見つめ、夢や目標を描く力」「課題を持って最後までやり抜く力」「職業や仕事について興味・関心を持つ力」「ふるさとへのよさに気づき、自ら関わる力」の5つを掲げ、「ふるさと竜峡を愛し、自ら考え、たくましく生きる子どもの育成」を目指しています。

1年生で「ふるさと学習」と「農業体験」、2年生で「職場体験学習」、3年生で「福祉



<今田人形>

体験学習」。そして全校で「キャリアフェスティバル」をキャリア教育の一環として実践してきました。各学年そして全校で取り組んできたキャリア教育は、それぞれの目的はありますが、いずれも「地域と共に歩む活動」として位置付けています。

④ 飯田 OIDE 長姫高等学校 商業科3年 課題研究(駅前班)の皆さん

XR,襲来 スマートグラスを用いた飯田市への移住・定住促進に関する研究(地域人教育)

世の中が情報化社会と呼ばれて久しい昨今、企業様にご協力をいただき、身に付ける端末としてスマートグラスを用いて飯田市の魅力発信ができないかと、飯田市役所の職員の方とワークショップを行い、飯田市に関する課題から「移住」を研究テーマの中心としました。飯田市の移住が増えていることや移住希望者から



<スマートグラスをかけて>

の不安や悩みもあるということで、写真だけでなく動画や XR 技術を活用し、飯田に来たくても来れない人に飯田の魅力を伝えることが移

住・定住を促進することに必要と考えて、「移住希望者へどのような説明をすれば効果的か」「どうすれば飯田市に移住・定住する人が増えるのか」の2つの問いから「スマートグラスを用いて飯田市の自然や特徴を体験してもらうことで、移住・定住をしたい気持ちが上昇するのではないか」と研究してきたことを発表します。

⑤ 飯田女子短期大学の家政学科家政専攻デザイン有志学生の皆さん

ひさかた和紙の染色 ~ランチョンマット~

「ひさかた和紙」は、飯田市下久堅地区でつくられる手漉き和紙です。私たちは、短期大学2年間で、染め、織り、縫製など「ものづくり」を中心に学んでいるため、自分たちの手でさわり、何かをつくることで、この和紙を感じ取りたいと思いました。和紙は摺込という技法で染めることができます。手漉き和紙の美しい「耳」をそのまま活かせるものは何かと考え、ランチョンマットを製作しました。1・2年生有志6名が、夏をテーマにしたビールと枝豆、かき氷、和(日本の夏)、水辺、夏椿、そして愛猫、葉っぱのような生物を染めました。



<伝統的な技法 摺込(すりこみ)>

手漉き和紙は一枚ごとに表情が違い、あたたかさを感じました。クリーム色なので、白い顔料が映えました。地域に暮らすまだ会ったことのない誰かが漉いた真っ新な紙に、最初に色を挿す瞬間は緊張しました。私たちが染めたランチョンマットがどなたかの手に渡り、使って頂けたらとても嬉しいです。



かき氷



ビールと枝豆



水辺

⑥ 結いジュニアリーダー育成講座の皆さん(14期生 市内9中学2年生代表)

「丘の上コース」「天龍峡コース」まちづくりの魅力や課題を探った地域探究学習

私たち「未来へつなぐ13人」は、年6回の講座を通して中学校間のつながり「結い」をつくり出してきました。講座テーマを「SDGs!! 飯田の良さを再発見! 地域の人から学び、自分の生き方に活かそう!」とし、各校の特色ある活動を情報共有したり、私たちにもできる SDGsを学び、「SDGs11 住み続けられるまちづくり」に関連して、高校生の方との意見交流や地域について考えてきたりしました。第4回講座では、知っているようで実は知らない飯田のまちづくりの魅力を探りに公民館主事さんや地域の方と「丘の上コース」と「天龍峡コース」に分かれて地域探究学習にかけました。今日は育成講座の最終回として地域探究学習のまとめと、そこから私たちが考えたことについて発表します。



第Ⅱ部 パネルディスカッション

テーマ：これからの「飯田型キャリア教育」を考える



コーディネーター及び全体講師
信州大学教職支援センター准教授

荒井 英治郎 さん

東京大学大学院を経て現職。専門は、教育行政学。地域連携部門長も務め、学校や教育委員会が直面する課題や地域連携のコンサルティングも行っている。飯田市キャリア教育研究委員会アドバイザー3年目。



パネリスト
飯田市立鼎中学校 校長

齊藤 辰幸 さん

伊那市立手良小学校長、鼎中学校長を歴任。飯田市キャリア教育研究委員会委員長。今年度、まちづくり委員会・公民館の協力を得てジュニアボランティアステーションを立ち上げた。



パネリスト
上郷公民館長
信州大学大学院教育学研究科特任教授

山浦 貞一 さん

伊賀良小学校長を最後に退職。「伊那谷 de キャリア教育」に携わり、今年度より南信州サテライトキャンパス（飯田東中学校校内）にて院生指導。下伊那教育会全郡教科等研究中心講師。



パネリスト
旭松食品株式会社
経営管理部人事総務課専任課長

松尾 優 さん

昭和56年旭松食品入社。現在は人事総務課で地元採用を担当。小学校の職場見学や中学校・高等学校の職場説明会等にも携わり、地域や地域の子どもたちのために奔走。

子どもと地域の未来を切りひらいていく「地育力」を活用した「飯田型キャリア教育」

飯田市では「地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり」を目標にしています。

子どもたちが、変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、地球規模で物事を考える広い視野と生まれ育った地域への誇りと愛着を育むことが大切だと考えています。地育力（飯田の資源・人）を活用したふるさと学習や体験的な学びを軸とした「飯田型キャリア教育」を、幼児期から高等教育期まで発達段階に応じて切れ目なく推進していきます。「飯田型キャリア教育」では、自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあって生きていくための力を育み、未来の地域の担い手や、地域を支える人づくりに取り組みます。

【飯田型キャリア教育で育みたい4つの力】

- 人とつながる力(結いの力) 例:自己表現力、コミュニケーション能力、規範意識など
- 自分を見つめ夢や希望を描く力(みつめる力) 例:自己の役割理解、主体性、忍耐力など
- 課題をもって最後までやり抜く力(うごく力) 例:情報収集・課題発見力、計画力、実行力、評価・改善など
- 職業や仕事について興味や関心をもつ力(みとおす力) 例:学ぶこと・働くことの意義や役割、多様性の理解、職業に関する情報収集など

ふるさとのよさに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人